令和３年度　第１回河南町総合教育会議　議事要旨

日　時　令和４年２月１４日（月）　午後１時３０分～午後３時００分
場　所　河南町役場　４階大会議室南
出席者
　町長　　　　　　森田　昌吾
　教育長　　　　　新田　晃之
　教育委員会委員　西川　幹雄
　教育委員会委員　行待　彩子
　教育委員会委員　藤原　充
　教育委員会委員　髙井　美恵子
　（町職員出席者）
　教・育部　湊部長、城者副理事、内山副理事、教育課　中海課長、こども１ばん課　田中課長、
　生涯まなぶ課　森課長、学校給食センター　梅川所長
　事務局：総合政策部　辻本部長、秘書企画課　森口課長、高山課長補佐、上野係長
傍聴者　なし

１　開会
（上野係長）
　本日は、お忙しい中、令和３年度第１回河南町総合教育会議に、ご出席いただき誠にありがとうございます。
……会議の公開について確認・・・公開とする
……傍聴者確認・・・なし
　それでは、令和３年度第１回河南町総合教育会議を始めさせていただきます。まず初めに、配布資料の確認をさせていただきます。
……配布物確認
それでは、お手元の次第に沿って進行させていただきます。
まず始めに、森田町長からご挨拶申し上げます。

２　町長挨拶
（森田町長）
　皆さんこんにちは。今日はお忙しい中、総合教育会議、今年度始めてですけれども、ご出席いただきましてありがとうございます。

日頃は、何かと教育行政に、ご協力・ご指導いただきましてありがとうございます。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が拡大しまして、町内で感染者・陽性者が増えております。学校でも、陽性者の発生があり、いろいろ対策を取っておられた。役場でも 6 人ほど陽性者が出ておりますが、今は皆さん回復されて元気に出勤しております。十分対策をとっていく必要があると思っております。

3 回目のワクチン接種ですが、医療従事者、教育関係者、介護従事者と保育士も含めまして、富田林医師会の協力を得て 1 月に、先行して 6 ヶ月経過した人から打っていただいております。昨日から、高齢者のワクチンの集団接種を始めておりまして、昨日は 1185 人の方に 3 回目接種を実施いたしました。次は 23 日の予定でできるだけ早く高齢者の方に打っていただき、順次６４歳以下の方にも打っていく予定としております。教育委員の方々が気がかりと思われる学校の子供さんのワクチン接種については、12 歳から 15 歳につきましては 12 歳に到達した人から、順次金剛病院の方で打つ形になっております。これは個別にご案内しております。5 歳から 11 歳については、国の方から早く打つという指示もありますが、また後程説明資料で説明いたします。できるだけ早く、これは保護者の方の選択もありますので、強制ではありませんのでそういうことを踏まえて考えております。

まちづくり計画はお手元の方に今お配りしておりますが、去年の 3 月にできたものでして、まだ教育委員の皆さんにお目通しをいただいてないということで、教育大綱とともに町の基本的な方針になります。一般には冊子ではお配りしておらずホームページで公開原則しておりますが、今日は設備が整っておりませんので、冊子をお配りさせていただきました。

予算の方も大詰めにきておりまして 3 月に議会がございますので、提案する予算もほぼまとまりつつあります。今日はその前段ということで議会の方にも提案しておりませんので、見ていただこうということでよろしくお願いいたします。

教育に関しまして忌憚のないご意見いただく場でございますので、よろしくお願い申し上げまして、簡単でございますけれどもご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

（上野係長）

これからの議事進行につきまして、河南町総合教育会議運営要綱第 5 条に基づき、町長に議長を務めて頂きます。森田町長よろしくお願いします。

（森田町長）

それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思います。

議題（１）「河南町まちづくり計画について」の説明を求めたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは事務局より、説明をお願いします。

３　議題

〇 議題（1）　「河南町まちづくり計画について」

（森口課長）

資料１　河南町まちづくり計画

資料２　河南町教育大綱

……議題１を資料１河南町まちづくり計画に沿って説明

続いて、資料２河南町教育大綱について説明。この教育大綱の策定にあたっての位置付けは、資料２の２ページ位置付けより国の教育振興基本計画、大阪府の教育振興基本計画を参酌し、河南町第４次総合計画、河南町まちづくり戦略における教育施策に関する分野、計画と整合を図りながら令和元年７月に策定。３ページの計画期間では令和４年度までの4年間としており、来年度までの計画となっている。資料１河南町まちづくり計画の６、７ページの計画の策定の目的より、今回河南町で策定したまちづくり計画の位置付けは4次総合計画とまちづくり戦略、これを合わせ発展的に策定したもの。来年度この教育大綱の改正を予定しているが、この部分をそれに合わせて教育大綱を新たに策定したいと考えている。

＜質疑応答＞

（森田町長）

説明は以上となりますが、盛りだくさんとなっておりますが、お気づきの点やご質問等あれば、教えていただければと思います。

（藤原委員）

ご説明のあった、この冊子の、我々教育に関わる問題ですが、47ページ（２）の施策の展開の、項目が上から3段目。Ｓｏｃｉｅｔｙ5.0時代を担う人材の育成や多様な子どもたちを誰１人取り残すことない、個別最適化された学びを学校現場で実現するため、児童生徒に対する１人１台端末の導入やＩＣＴ環境の整備に取り組むということですけれども、ここで一つ、問題提起をしたいことがあります。

河南町全体でなく、１自治体だけに関することではなく、おそらく全国の学校現場で抱えている問題と思っておりますので、簡単にまとめてきました。

文部科学省は４年ほど前に、次世代の学校指導体制強化のための、タスクフォースを提案しました。学校教育現場の現状を踏まえた上で、次世代の学校教員のあり方、学習指導のあり方の方針をまとめたものですが、ここで一つ考えなければならない問題があると常々思っています。日本の学校教育は国際的に評価が高いのですが、それは、諸外国では、教職員の業務は、授業に特化しているのが特徴です。日本では、授業のみならず、生活指導、部活指導、通学の安全確保など総合的に対応するのが、日常の学校現場の風景です。日本の学校教育には、子どもたち一人一人をトータルで把握して、指導するという特徴が、ずっと昔から続いております。これは、現場の教職員の皆さんの負担の上に成り立つという悪循環という現実があります。それに加えて、子どもたちを取り巻く生活環境の急激な変化があります。ひとり親家庭の増加、家庭の孤立化、貧困、不登校やいじめの問題、現場を見ておりますと、先生方は朝から晩まで、休日返上で職責を果たされている姿を見ております。これでは、心身ともに疲労のきわみだと思います。私は、日本型の学校教育のすぐれた点をシンプライズして、先生方の時間に余裕を持たせてこそ、近未来の世の中に対応できる、人材育成が可能となると思っております。

人工知能、世界の飛躍的なグローバル化により、さらに加速する社会の変化が待ち受けています。これらの変化によっても、活躍できる人材育成がこれからの学校教育に求められます。予測が難しい社会の中で、生き抜く力を育むには、参加型の授業、最近ではアクティブラーニングと言いますが、アクティブラーニングを活用し、自分の意見をしっかりとプレゼンテーションする。そのプレゼンに対して、皆で意見交換する。そして先生方がまとめる。主体的、対話的な学び、より深い学びの実現のためにも、アクティブラーニングの指導ができる先生方、これを充実させることも、ＡＩ社会に勝ち抜く人材育成には必要だと思います。みずから考え、創造する力、これからの社会には必要だと思っています。一挙には解決は難しいと思いますけれども、予測が本当に難しい時代に入ってます。その中で従来の教育現場の状況を、やはりそのまま踏襲するという形では、なかなかこういう難しい世界に入っていく中で、子どもたちが活躍できる人材の育成はできないと思います。

人口１万5000人余りの河南町が一丸となって、我々教育委員が、町職員が一丸となって、子どもの未来の生きる力、創造する力、みずから考える力、これをすべて河南町の子どもたちに残してあげたいと思っております。以上です。

（森田町長）

ありがとうございます。確かに学校の先生の仕事は多岐にわたっていると思っております。事務的なものもあれば指導的なものがあり、また、学校要領はすべては先生の管理下というようになっている、そういう点も踏まえてこれからも、仕組みやＡＩなど使えるものを使っていけたらいいと思います。

時間的な余裕を先生方に持っていただくことで、指導への余裕が必要だと思います。また、まちづくりも遊びが必要というのもあるんですけど、一つはそういう、余裕を持ってやるということが、ゆとりある教育になるのでないかと思っております。まちづくりとして「あなば」という言葉をつかっておりますが、「あなば」の中で遊びがあるというのを使っておりますので、町の中でも余裕というか遊びがある、何でもガチガチに作ってしまうと、どこかで破裂してしまうので、少しフレキシブルに動けるようなところを持ってしていく必要があると思っております。

貴重なご意見いただきまして、私を含めて、教育委員会も、今後いろいろやっていかないといけないと思います。

（藤原委員）

ありがとうございました。学校現場での現状では、学習面のメリットの部分や、先生方自身の生活を考えたときに、ここは改善したいと感じていらっしゃると思います。

（森田町長）

では、次にどうぞ

（西川委員）

僕も、長らく学校の方でお世話になりましたが、いつも先生方にお願いしていたのは、先生方がわくわくしなかったら、子どもたちがわくわくしないという話をよくしました。先生方は、明日は子どもたちにこんなことを教えたい、こんな勉強をしたいという気持ちを持って、子どもたちの顔見るのが楽しみだという気持ちで乗り切ったときは、本当に良い教育が子どもたちにできると考えております。反対に、非常にしんどくなって、学校業務に追われて、いろいろ重なってくることで、わくわく感が持てない。どうしてもそういうときに、子どもに接すると、子どもたちは敏感なので、今日は先生機嫌悪いなとか、すぐに分かってしまうので、僕は先生方に対して、健康面も含めて、精神的な面も含めて、いい状態で子どもたちに臨んで欲しいという話をよくしました。体の調子が悪かったら、休んで、良い状態で子どもたちに向かい合うという、そういう大きな観点で、先生方を見てあげて欲しいんです。

先生方は、どれだけ忙しくても、子どもたちのためにと頑張ります。それはわくわくできるからです。反対に問題対応とか、例えば保護者からのクレーム対応などは、そのわくわく感が落ちてしまう。いつも、先生方にお願いしました。特に、保護者の皆さんにも、先生方は、保護者の方に、良い先生だとか、褒めてもらえると、すごくモチベーションが上がるんです。反対に、保護者からクレームが来たら、やっぱり落ち込むんです。そんな経験は高井先生もされておられると思うのですけれども、先生方が良い状況のもとで、教育していただき子どもたちに接していただく、そういう環境づくりを、私たちはしっかり見守っていかないといけないというのが先ほど藤原委員からのご意見の内容の一つかなと思いました。以上です。

（森田町長）

先生方が働きやすい環境、子どもたちが勉強しやすい環境というのを整えていくのが、我々町の役目であると思っております。働きやすい環境、教えやすい環境にするためにどうしたらいいか、それは施設の整備もあるし、教育の補助的な教材や、いろいろな設備に関しては、教育委員会と調整しながら、できる限りのことはやっていきたいと思っております。

（高井委員）

教育の現場のなかでは先生たちが日々、目の前の子どもたちを相手に、本当に目の前のことに追われて指導している。この河南町が掲げているような、教育のことをもっと先生たちに伝えていきたいと、教育委員となってからは特に思っております。ＡＬＴは当たり前にいるのではなく、河南町が実施している事業であるとか、ＩＣＴの整備にしてもそうですし、英語検定についても補助を出してもらっているということ、そのことをどう生かすかは、今度は先生たちの、教育活動の方の活性化に繋がっていったらいいと思っております。

先生方は本当に忙しいので、例えば英語検定のことなどでも、補助は出してもらっている、では英語検定をサポートするような事業が町の方からまた出てきたりとか、先生たち頼みではなく、支援するようなことが出てきてほしいと私は思っております。大阪芸術大学があり、大阪教育大学とも連携取っている中で河南町単独よりも、もっと芸大や教育大との連携が進めばいいと思っています。

（森田町長）

事務局の方も重々承知しておりますので、その点も踏まえ、今後考えていけたらいいと思います。

では次に、議題（2)「令和４年度における教育関連の主な事業（案）について」ということで、事務局よりご説明をお願いします。

○議題（2)「令和４年度における教育関連の主な事業（案）について」

（森口課長）

資料３　令和４年度における教育関連の主な事業について

……議題２（資料３）を説明

＜質疑応答＞

（森田町長）

令和４年度についても、盛りだくさんの事業が予定されており引き続きなものもありますけれども、新しいものもあるということなので、ご意見等ありましたら、いただきたいと思います。

力を入れてほしい部分やすべきものなど、ご意見をいただければ幸いと存じます。

（行待委員）

2020 年まで町の方で、中学校での防災検定が行われていたと思います。今年度からなくなっておりますが、防災教育に関わるそのような事業というのは、これから考えていることはないんでしょうか。子どもたちに対して防災教育をこれからどのようにしていくのかという考えはございますか。

（中海課長）

ジュニア防災検定につきましては、今後、事業を実施しない方向にしております。その代替という形で、小学校の方では総合学習の中で、中学校も総合学習で防災的な教育は現在行っておりますので、そちらの方で十分であると考えています。

併せまして、新しい指導要領の中で、今年度、作成中ですが、社会科副読本の中で、地域の防災的なものも盛り込んだ形で、小学校３年生、４年生から、地域の防災的なことを学ぶ機会を設ける形で進めております。今の事業の中で十分な防災教育ができるのではないかと、事業の見直しをさせていただいております。以上です。

（森田町長）

防災教育はしていかないといけない、まずは自分の身を守ることから始まると思います。それから周りの人のお手伝いというか、お助けするということになると思います。防災検定は検定そのものをしていくのをやめて、今は授業の中で進めるという形を理解いただきたい。

また、ファイアジュニアやファイアチャイルドなどに参加していただいて、見学や実地など踏まえてやっていけたらなと思っております。他にありますか。

（西川委員）

１月の成人祭に参加させていただき感じたことで、教育に関わると感じましたのでお話させていただきます。

新成人の代表者の誓いの言葉をお聞きしました。ずっと、僕も成人祭に参加させていただいており、河南町は本当によい成人祭で、すばらしい先輩が毎年育っていると、目の当たりにしておりました。特に、今年、誓いの言葉の中で、河南町で自分は育ててもらったということ、これからは、河南町のために貢献したいと発表をされておられ、とてもよかったと思いました。当日、小学校の校長先生も中学校の校長先生も聞いておられたので、みんなの先輩の中に地域のことを考えて、育つ成人がいるということを、子どもたちに伝えて欲しいと思いました。よい見本が自分たちの周りにいるということは、子どもたちの教育にとって素晴らしいことです。

教育で僕は一番大事にしているのは、憧れと慈しみです。憧れというのは、皆さん方もそうだったと思いますが、僕も小さいとき、運動会を見ていて、高学年のお兄ちゃんがリレーで地響き立てながら走っているのを見て、すごいなあ、大きくなったらできるのだろうとか、そういう憧れを持ったと思います。そういう憧れを小学校でも、中学校でも大切にして、育てていくということがあります。

もう一つは、慈しみです。これは高学年が低学年の子どものお世話をしたり、慈しみの心を持ってかかわり合いをする、やんちゃな子どもでもいい顔をして子どもたちと関わります。中学生が、例えば保育所に出向いて、社会体験活動などすることによって、よい教育に繋がると思っております。

今年も成人祭が、特にその誓いの言葉など、また、進行してくれた人たちの様子を、子どもたちにも今年 20 歳になった人が、こんなすばらしい発表したと、地域で活躍しているということを、子どもたちに伝えていきたいと、とてもいい見本がこの成人祭にあったと思います。

河南町で行っているよい行事をもっと地域に広めることができたらと思います。きっかけになることを総合教育会議の場でも、そういう視点で一度見ていただき教育を盛り上げていただきたいと思います。成人祭の感想となります。

（森田町長）

そういうようなことを伝える、発信するなど必要になってくると思っており、また発信していく予定です。

今回説明した、主な事業の中で、町が公開しているホームページについて公開から年数経ってきており、前面リニューアルを令和４年度に実施予定です。機能そのものをもっと充実して、いろんなものを発信したいと思っております。町の情報だけでなくて、町の中で起きたこと、イベントなど公開できたら、短くしてでも動画の配信もしていきたい、先ほど先生がおっしゃった内容についてなどから出発して皆さんに広まっていくということもあるので、ホームページの改修の中で考えていきたいと思います。

（西川委員）

成人祭というと、暴れていたりお酒を飲んで走り回っているなど悪い情報が多いが、良い内容があれば地道に発信していけたらと思っています。

（辻本部長）

以前はイベントや催しのビデオを町のホームページでも配信したことがありましたが、現在は、配信方法なども変わってきておりまして、今回町ホームページを更新しますので、その時にいろんな手法を使って、良い部分を抜粋して、ＰＲなどしていきたいと思っております。

（西川委員）

教育の方で、使っていただけたらいいと思っております。

（辻本部長）

教育委員会とも連携してまいります。

（森田町長）

他にありませんか。他にないようでしたら、これで終わりますが、来年度に向けてご意見ありましたら、また教育委員会を通じてでもおっしゃっていただければと思います。よ

ろしくお願いいたします。それでは、最後にその他ということで、ワクチンの資料を用意しておりますので、それについて、ご説明をさせていただきます。

〇議題（3）「新型コロナワクチン接種関係について」

（森口課長）

資料4より本町における新型コロナワクチン接種率や体制について説明。

接種情報は町のホームページの方にも掲載。最新情報として2月3日現在の町全体接種率は、1回目の接種済みが88.2%。2回目の接種済みが87.5%。大阪府全体、また日本全体と比べても、本町は高い接種率となっている。

昨年9月からは12歳から15歳を対象としたワクチン接種を開始。12歳から15歳の接種対象となる人数は527人。12歳には小学校6年生を含み、12月31日までに誕生日を迎えた12歳の人数を含めた数となっている。この1月、2月、3月に誕生日を迎える方は、この527人には含まれていない。対象人数527人のうち、1回目の接種済みの方が394人。接種率として、74.8%。2回目の接種済み者は380人。接種率が72.1%。

ワクチンの接種の環境について、まず1回目、2回目の接種は12歳以上の方を対象に、現在は個別接種として取り組んでいる。接種場所は、富田林市にあります金剛病院で実施。12歳になる誕生月の翌月に接種券を発送、町新型コロナワクチン接種コールセンターで予約を受け付けする。

5歳から11歳を対象としたワクチン接種は、現在、準備中。この年代の接種方法は、富田林医師会と協議調整中、現時点で接種場所は、富田林医師会が指定した、小児科での個別接種を予定。指定する小児科の医院数は約8ヶ所程度になる見込み。本町では、東山の沢本小児科での接種予定で準備中。接種券の発送時期、予約の方法なども決定次第ホームページ等を通じて案内予定。

本町では、1回目と2回目の接種と並行して、18歳以上対象に、3回目の接種を集団接種に実施中。昨日2月13日もかなんぴあで集団接種を実施。昨日は1185人の方の接種を実施。また本日より、施設等への巡回接種も今週4日間かけて実施する予定。接種場所は、昨日はかなんぴあで実施。今後、2月、3月につきまして、13日、23日、3月6日、12日、20日、24日の6日間をかなんぴあで実施の予定。今後は、ぷくぷくドームでの接種も視野に入れて予定。接種券については、2回目接種が完了した人の順に、接種間隔の前倒しを考慮しながら発送を進めている。医療従事者等については、1月中に合計6回富田林医師会により実施して、その際には、希望する教職員及び保育従事者等にも接種。3回目の集団接種は、町が接種券を発送する際に接種日時を指定し、前回の（昨年の5月）予約が繋がらなかったなどの課題解決のため、あらかじめ町の方から接種日時を指定して送付。

町が指定した日に都合がつかないなどの場合はコールセンターで変更対応。引き続き希望者へ接種できる環境整備に取り組む。

（森田町長）

ワクチン接種について、現在ファイザー社の小児用のワクチンが開発されて、大人用とは異なるとのことですが、3 月ぐらいから国の方は、接種をはじめていこうとなっております。また前倒しというような話もあります。それを受けて、町の方にもワクチンが来る予定となっておりますので、医師会の方と連携して、子どもさんへの接種を考えています。こちらに関しても希望となり、保護者に選択していただくということです。もともと、ワクチン接種は強制ではありませんので、そこはお医者さんと相談していただいて、接種していただけたらと思っております。小児科が一番良いと、医師会の方もおっしゃっております。そんな形で、進めていこうと思っております。今月末か来月初めぐらいには、個別で通知をさせていただくという形になると思います。

＜質疑応答＞

（藤原委員）

ワクチンのことでよろしいでしょうか。この円グラフは河南町の全人口における 1 回目、2 回目のワクチン接種済みの比率でしょうか。

（森口課長）

こちらの人数は 11 歳からは除いております。接種の対象となる人をまず分母に置きまして、それに対して接種者数で率を出しております。

（藤原委員）

1 回目も 2 回目も打ってない方の比率は、ほぼ似たような数字で 13%です。未接種が 1 回目も 2 回目も打ってない方の理由は、打ちたくても打てないのか、それとも自らの意思で打たないのか、その辺はどうでしょう。

（森口課長）

担当部署の方に伺っておる内容ですけれども、今回のワクチン接種は強制ではなく、希望に基づき接種を行っておりますので、例えば、なぜあなたは打たないのですかというようなアプローチは今回行っておりませんので、正直理由というのは、すべてが把握できておりませんが、接種会場ではいろんな方とお会いする中で打っておられない方の、お話は聞

いたことありますが、やはり不安を感じておられる方もおられますし、体のことで主治医に相談して待っているなど、いろいろと聞いてると、この 11 月、12 月の接種でも 70 代 80 代の方がおられて、なぜ今なんだろうと、お伺いしたら病院に入っておられたなど、いろんな実情で受けなかったという方は多々聞いております。ただしそういった方々につきましても、接種を希望される場合は、決してもう打てないと断るのではなく、個別接種にはなりますけれども、金剛病院の方で希望する方が接種できるような環境の方は引き続き、現時点で進めておるところではございます。

（森田町長）

金剛病院での接種は結構多くて、一般の方、高齢者も含めて、今小学生が対象と言ってるんですけど枠が空いてれば来ていただいております。

（藤原委員）

私の知人でも外国産のワクチンは打たないという信念をもっている方がおられる、国産がよいとそういう人が結構多いんです。みずからの意思で断っているということがあると。

（森田町長）

やはり新しいものなので、報道でも副反応についていろいろとあるというデータが出ておるようです。お医者さんが報道・テレビに出てこられ、効果はあるので、打たないよりも、打つ方がよいとお勧めするなどあるようです。副反応も個人差があって、何もない人や、1 日、2 日だるくて熱が出る方もいらっしゃいますし、腕が上がらないという方もいらっしゃるようです。人によって千差万別かと。

以上となります。大体こんな形でワクチンは進めさせていただこうと思います。

○　議題４　その他

（森田町長）

その他、何かございますか。

４　閉会

（森田町長）

何かございますか。なければ総合教育会議はこれをもちまして終了ということにいたします。ないようですので、これをもちまして、今回の総合教育会議を終了といたします。進行を事務局にお返しします。よろしくお願いします。

（上野係長）

ありがとうございました。それでは、これをもちまして、令和３年度第１回総合教育会議を終了いたします。

なお、本日の会議の概要につきましては、運営要綱第８条に基づき、後日、町ホームページ上で公表させていただきます。

議事録ができ次第、委員にご確認いただきますので、よろしくお願いいたします。

本日は、長時間にわたり、どうもありがとうございました。